

兵庫の林業

非住宅木造建築研修会の開催報告
令和5年度林業普及指導事業の展開について



Tajima TAPOS (高強度梁仕口)

もくじ

- 令和5年度県功労者表彰等被表彰者・・・1
- 県産広葉樹苗木生産者育成研修のご案内・・・2
- 令和5年度狩猟免許試験のご案内・・・2
- 非住宅木造建築研修会の開催しました
- 兵庫県立総合射撃場(仮称)管理棟見学・・・3
- 姫路エリア最大級の「住まいづくりフェア2023 in アクリエひめじ」への出展・・・4
- 令和5年度林業普及指導事業の展開について・・・5～6
- △普及だより▽
- 集落ぐるみの鳥獣被害対策
- 神河町と姫路市での取り組み・・・7
- 伐木災害防止研修について・・・8
- 「六甲山の災害展」の開催について・・・8
- 木材市況・住宅着工数の報告・・・8
- 兵庫県立森林大学校 オープンキャンパス・学校説明会・入学試験・・・9
- 森林ボランティア活動・・・10
- 県立三木森林公園は、本年度、開園30周年を迎えました。編集後記・・・10
- 「ひょうごの木の話」第5回(裏表紙)題字・・・兵庫県知事 齊藤元彦氏

表紙の写真

兵庫県では、県産木材の利用をさらに拡大するため、木造住宅のみならず、非住宅や大規模施設の木造木質化に取り組んでいます。その一環として県立総合射撃場(仮称)(令和6年6月供用開始予定)の管理棟の木造化を実現し、上棟作業にあわせて、木材・建築関係者向けの研修会を開催しました。

当施設は、「都市(まち)の木造化推進法」及び「県産木材利用促進条例」の趣旨を踏まえ、木造化に至りました。また、当施設ではTajima TAPOSという兵庫県立農林水産技術総合センター 森林林業技術センターが開発した高強度梁仕口を採用し、今後の県産スギの梁や桁への利用拡大を期待しています。

令和5年度 県功労者表彰等被表彰者の皆様

兵庫県功労者知事表彰

中村 義弘氏

兵庫県木材業協同組合連合会 理事



主なご功績

昭和51年に家業である中村材木店に入社、また同社は加印木材組合創設以来の会員として同組合員から信頼されており、新興住宅地域である加古川地域の木材産業の振興・発展に重要な役割を果たされています。

平成25年に加印木材組合の理事に就任以来、地域への木材利用の普及活動を行うことの重要性を強く意識され、自らが各種イベントに参加し木材に親しむ活動を提案した結果、徐々に組合員の参加が得られ、組合活動の活性化や組合強化に結びついた功績は大きい。令和4年度からは組合員の協力のもと、加古川地域の木材を活用した新たな造作材の開発を行うなど、木材産業の振興・発展に大きく寄与されています。

また同組合は、「加古川楽市」や「兵庫県民農林漁業祭」などのイベントに積極的に企画・参加し、木製品の展示や、木工教室など木に触れ親しみ、木材の良さを実感できる普及活動に尽力されています。

兵庫県功労者知事表彰(環境功労)

木原 薫氏

的形ふるさと里山会(姫路市)前会長



平成20年4月に地元有志で設立された「的形ふるさと里山会(姫路市)」の会長を当初より務め、三方を山で囲まれた的形町の里山を巡る遊歩道整備や、森づくり活動の陣頭指揮を執られてきました。

整備された遊歩道「的形ふるさと里山回廊」は、約10kmに達しており、神戸・阪神地域からも多くのハイカーが足を運ぶなど、県民が里山の自然に触れ合える機会の創出に大きく貢献されています。

また、同団体は、地元幼稚園児や小学生、中学生などを対象とした森林環境教育にも精力的に取り組まれており、地域の里山の素晴らしさと、その保全の重要性を学ぶ機会を提供されています。

兵庫県功労者知事表彰

船田 穰氏

中はりま森林組合 代表理事組合長



主なご功績

中はりま森林組合は、平成22年11月に中播磨地域の8森林組合が合併し、当初3期は業績不振であったが、平成26年8月から船田氏が代表理事組合長に就任以来、経営基盤と業務執行体制の強化に取り組み、現在では、純資産が発

足時まで回復するなど経営の安定化や充実強化に大きく貢献されました。

また、効率的な素材生産遂行のため、作業道の開設や高性能林業機械の導入による原木生産の低コスト化を進めた結果、令和3年度には原木生産1万m³を超え、加えて森林整備により発生した林地残材等を有効活用するための未利用間伐材等の木質バイオマス資源の供給など、木材の安定供給にも取り組まれました。

さらに、森林の公益的機能の高度発揮に関する意識が強く、県が進める「新ひょうごの森づくり」や「災害に強い森づくり」の推進に卓越した指導力をもって積極的に取り組み、中播磨地域の森林整備推進と林業の活性化に大きく寄与されています。

令和5年度環境保全功労者知事表彰

あびき湿原保存会(加西市)



同会は、長年にわたり管理放置され、消滅の危機に瀕していた「あびき湿原(加西市)」の保全を図るため、侵入木の伐採や周辺部の除伐などに取り組まれています。

同会の活動によりヒメヒカゲ(チョウ類)をはじめとする希少な動植物が多数確認され、環境省により重要里地・里山に指定されるなど、学術的にも貴重な湿地へと蘇りました。

また、一般県民を対象とした現地での解説や観察会の開催に取り組まれているほか、加西市内の全小学校(3年生)を対象とした環境体験学習の受入れを行なうなど、啓発活動を精力的に実践されています。

県産広葉樹苗木生産者育成研修のご案内 ~広葉樹苗木生産の担い手の育成を目指して~ 兵庫県林業種苗協同組合

新しい苗木生産技術を活用して、その地域にあった優良な広葉樹苗木を養成する「県産広葉樹苗木生産者」の育成を図るため、県林業種苗協同組合が、県から委託を受けて、広葉樹苗木生産者の育成研修を実施します。

専門的な育苗技術を身に付けていただく専門コースのほかに、県産広葉樹苗木生産に関心を持っていただくため、1日だけの公開講座も併せて開催します。

定員：公開講座30名、専門コース10名



【お問合せ先】

兵庫県林業種苗協同組合 ☎078-351-0734

メール：Hyogo-naegi@axel.ocn.ne.jp

【日程表】講座番号1と、2又は3のどちらかを受講 公開講座はどなたでもご参加いただけます。

講座	日時	主な内容【場所】	主な講師
1	【公開講座】 10月6日(金) 13:10~16:00	広葉樹苗木の生産管理、樹種特性、 広葉樹の利活用など 【県立森林大学校研修室他】	県林業種苗協同組合役員、 森林林業技術センター研究員他
2	10月12日(木) 13:10~16:00	広葉樹種子の管理、生産現場の現状、 広葉樹苗木生産管理実習(北部) 【県立森林大学校研修室他】	県林業種苗協同組合役員
3	10月17日(火) 13:00~16:00	広葉樹種子の管理、生産現場の現状、 広葉樹苗木生産管理実習(南部) 【淡路市黒谷苗圃】	県林業種苗協同組合役員

※県立森林大学校(宍粟市一宮町能倉772-1 ☎0790-72-2700)

令和5年度狩猟免許試験のご案内

兵庫県では、今年度も次のとおり狩猟免許試験を実施します。多くの方が免許を取得されますよう、ご案内いたします。

【狩猟免許とは】

狩猟期間中にシカやイノシシなどの狩猟鳥獣を捕獲するのに必要な資格です。

また、県や市町の許可を受けて実施する有害鳥獣捕獲にも原則必要です。

【狩猟の楽しみと公益性】

狩猟は、ハンティングや料理を楽しむという魅力のほか、農林業被害を与える野生動物の生息頭数を適正に管理するという公益性も兼ね備えています。

【免許の種類】

- ・網猟(主に鳥類)・わな猟(獣類のみ)
- ・第一種銃猟(装薬銃・空気銃)
- ・第二種銃猟(空気銃)

【試験の日程と場所】

申込期間：7月17日(月)~8月4日(金)

試験日及び場所

- ・9月2日(土) 神戸市
 - ・9月15日(金) 姫路市
 - ・9月30日(土) 神戸市
 - ・11月27日(月) 姫路市※
- ※11/27姫路市での開催はわな猟試験のみ

【お問い合わせ先】

兵庫県環境部自然鳥獣共生課 ☎(078-362-9084)

【狩猟免許初心者講習会のご案内】

狩猟免許試験を受験される方を対象に、一般社団法人兵庫県猟友会が知識・技能に関する講習会を実施する予定です。

詳しくは、兵庫県猟友会までお問い合わせください。

【講習会の日程と場所】

◇網・わな

【申込期間】

7月5日(水)~8月4日(金)

【開催日及び開催場所】

8月19日(土) 神戸市

◇第一種・第二種銃猟

【申込期間】

7月5日(水)~7月19日(水) ※8/5開催分

7月5日(水)~8月4日(金) ※8/29開催分

【開催日及び開催場所】

8月5日(土) 神戸市

8月29日(火) 神戸市

【お問い合わせ先】

(一社)兵庫県猟友会

☎(078-361-8127)



(自然鳥獣共生課 岡田)

非住宅木造建築研修会を開催しました 兵庫県立総合射撃場(仮称)管理棟見学

このたび、兵庫県、兵庫県木材業協同組合連合会、兵庫県木連県産木材供給部会の共催により非住宅木造建築研修会を開催し、県下の木材・建築関係者や行政関係者等57名の参加がありました。

日時：令和5年5月11日(木) 13:30~17:00
場所：阪神北県民局三田庁舎
兵庫県立総合射撃場(仮称) (三木市)

1 概要

兵庫県立総合射撃場(仮称)は、多様な銃種・射撃タイプに対応した射撃練習場とわな猟の練習場を備えた西日本最大規模の施設です。当施設の管理棟が、兵庫県産木材を利用して木造で建築されることから、当施設を題材として、木材・建築関係者が非住宅建築物の木造化や県産木材に関する知識を習得することを目的に研修会を開催しました。



兵庫県立総合射撃場(仮称)管理棟の全体図

2 屋内研修

当施設の発注者の立場から兵庫県環境部自然鳥獣共生課の三木主査、設計者の立場からは株式会社ワーク&デザインの小角常務、木材供給者の立場からは株式会社久我の亀澤プレカット取締役本部長にご説明いただいたほか、Tajima TAPOSについて県立農林水産技術センター森林林業技術センターの小長井専門技術員にご説明いただきました。

当施設の管理棟は延床面積790㎡の平屋建てで、県産木材利用促進条例を踏まえて県産木材を用いた木造で設計されています。発注にあたっては、Tajima TAPOSを使用すること、延床面積310㎡以上の施工実績があること等が入札条件として設定されました。

構法は在来軸組とテックワン工法を併用し、入札条件で指定されたとおり一部にTajima TAPOSを使用しています。県産木材の使用は、構造材では98%とされていますが、羽柄材では県産合板が入手困難だったことから、28%となっています。

県産木材の調達については、特に苦労なく集めら

れたようですが、プレカット工場としては、当施設のような木材使用量の多い建物の場合、短期間で多量の木材を加工する必要があることや、手作業が必要な加工もあるため、工場全体の工程管理に気を遣ったそうです。

Tajima TAPOSとは森林林業技術センターが開発した高強度梁仕口であり、形状が従来のU字型ではなくV字型をしていることが特徴です。これにより支圧が分散されることで、接合強度が飛躍的に向上するため、スギ材の梁・桁利用の促進が期待されます。



屋内研修の様子

3 現地見学

見学当日は、管理棟の施工を担当している株式会社吉住工務店により上棟作業が行われていました。作業を見学しながら、参加者から多くの質問があり、活発な意見交換が行われました。



現地見学の様子

4 まとめ

今回の研修会では、全国的に注目される非住宅建築物の木造化を図るために、発注から施工までの一連の過程を各担当者から説明いただき、普段見ることのない貴重な上棟作業の現場見学を行いました。

今後も非住宅木造建築研修会を開催することで、県として建築物の木造化、及び県産木材の利用を促進していきます。

(林務課木材利用班 島口滉平)

姫路エリア最大級の「住まいづくりフェア2023inアクリエひめじ」への出展 兵庫県木材業協同組合連合会

1. 概要

①日時

令和5年6月3日(土)、令和5年6月4日(日)

②場所

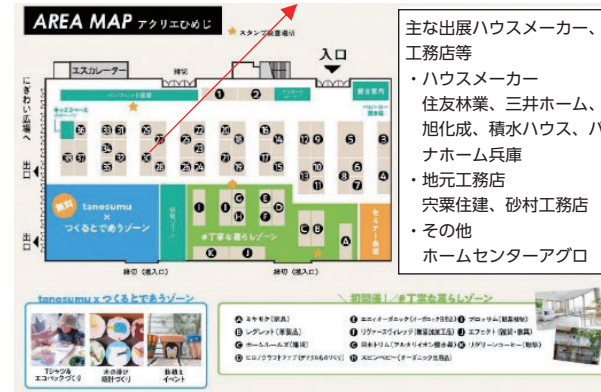
アクリエひめじ(姫路市文化コンベンションセンター)

③イベントの趣旨

播磨エリアのハウスメーカーや工務店38社(主な出展者：下図参照)のほか、姫路信用金庫、JA兵庫西、関西電力、大阪ガスなど住宅に関連する企業が集結

マイホームを建てたい人、暮らしに合わせたリフォームを検討している人等を対象に、住宅だけでなく気になる資金プラン、注目のエコ住宅・省エネ住宅に欠かせない電力など住まいにまつわる総合的な相談を行う。

兵庫県木材業協同組合連合会



④出展内容

・住宅ブース

新築、リフォーム、中古住宅、建築設計、不動産、金融、電力、ガスなど住まいづくりに必要な情報収集、個別相談等のブース



住宅メーカーの展示



パンフレッツ置場

・にぎわい広場

話題のキッチンカーが10店舗出展、お菓子まきが体験できる「棟上げ体験」や「ふわふわ遊具」、姫路木材協同組合の協力による「木工教室」



ふわふわ遊具



木工教室

・つくるとであうゾーン

約50種類のイラストを自由に組み合わせてデザインするオリジナルTシャツやエコバックづくり、ひまわりの鉢植え体験、木の掛け時計づくり



Tシャツづくり



ひまわりの鉢植え体験

2. 兵庫県木材業協同組合連合会ブース

①木材利用相談

リフォームを考えておられる来場者が多く、「こどもエコすまいる支援事業」(国交省)などの補助事業や、県産のスギ、ヒノキ、コナラなどのフローリングのサンプルにより県産木材による木質化の推進について普及啓発を行った。



木質化の相談



フローリングの紹介

②木育

子供連れの家族向けに県産スギによるフローリング、ヒノキによる滑り台を用意し、遊びを通じて木の良さを実感してもらおう体験型の展示も行い非常に好評であった。



木育体験



スギフローリングの体験

③新技術の普及

当該フェアには、大手住宅メーカー以外にも地元の工務店も出展されており、県産木材利用について情報交換、新技術の紹介等も行った。



地元工務店



Tajima TAPOSの説明

3. 今後の展開

木材関連の展示については、全体的に好意的であり、県産木材について情報発信することの重要性を感じた。来年度も「県産木材を利用する意義」などテーマを設定し、体験型展示を中心に情報発信をしていきたいと考えています。

令和5年度林業普及指導事業の展開について

兵庫県農林水産部 林務課

はじめに

本県の森林は、戦後造林された人工林の多くが本格的な利用期を迎えており、この豊富な森林資源を伐採して利用し、伐採した跡には、木を植えて育てるといった森林資源の循環利用を進めていくことが、これからのカーボンニュートラルを目指す社会で求められています。

この主伐・再造林により、森林の更新が確実に行われ、さらに県内で定着していくためには、事業地の選定ノウハウと、コストダウンが重要であることから、確実な更新を行うための方策等を示したマニュアルを作成し、普及を図って行く必要があります。さらに、循環型林業を構築していくために必要な林業技術者の確保・育成や、地域で生産された木材の需要拡大にも取り組んでいく必要があります。

また、地域の森林林業のマスタープランである市町村森林整備計画の策定及び実行や、森林経営管理制度、森林環境譲与税等、林業行政の中でその役割が非常に大きくなっている市町や、シカ等の獣害対策に取り組む集落や事業体への支援にも取り組んで行く必要があります。

このため、令和5年度、林業普及指導事業として、以下のことについて重点的に取り組んでいきます。

令和5年度林業普及指導事業の重点事項

1 県産木材の利用拡大と加工流通体制の強化

イベントや研修会、パンフレット等を通じて、調湿性やリラックス効果など木材の魅力を伝え、利用することで森林整備が進むことを啓発するとともに、県産木材利用の意識醸成を図っていきます。特に、多くの方々に利用されるオフィスや店舗、病院等非住宅分野への木材利用を推進していきます。



認定こども園での非住宅木造建築見学会（宍粟市）

2 森林資源の循環利用と林業経営の効率化

木材生産と環境保全の調和がとれた森林へ誘導するため、林業経営に適した人工林と、奥地等の条件不利地にある人工林のゾーニングをすすめます。

林業経営に適した人工林では、需要に応じた適期の主伐を推進します。主伐・再造林は、森林資源の循環利用を進めるためにも必要なことから、低コストで効率的な方法を提案した「主伐・再造林低コスト普及モデル」を構築して普及を図り、確実な更新の実現と持続的かつ安定的な木材の供給を目指していきます。

また、奥地等の条件不利地にある人工林では、市町が実施する森林経営管理制度や森林環境譲与税を活用した森林整備を支援し、管理コストの低い自然に近い森林へと誘導していきます。

さらに、県立森林大学校において、森林組合等林業事業体の林業従事者を対象に、林業に関する技術・知識の習得を目的とした研修を行い、育成を図るとともに、林業就業希望者を対象にガイダンスを開催し、林業従事者の確保にも取り組んでいきます。



主伐・再造林地において下刈の必要性について検討（宍粟市）

3 野生動物の管理や被害対策の推進

シカ等の野生動物による農業被害対策としては、森林動物研究センターや市町と連携し、被害対策に集落ぐるみで取り組んでいる集落に対して、捕獲や防除に関する研修会の開催や助言指導を行っていきます。

また、林業被害の軽減に向けて、造林地での防護柵設置方法について、森林組合等林業事業体に指導を行っていきます。

さらに、造林地での捕獲に取り組む林業事業体に対しては、効率的な捕獲方法の指導等の技術支援を行います。



造林地でのシカ捕獲（新温泉町）

4 森林の防災機能の強化を図る「災害に強い森づくり」の推進

森林の公益的機能の維持・向上を図り、災害に強い森に変えていくため、県民緑税を活用して間伐後の人工林の表土流失対策や災害緩衝林の整備、農業被害地において野生動物と棲み分けを図るためのバッファゾーンの整備等の「災害に強い森づくり」事業について、事業の特徴や効果について普及啓発を行っていくとともに、地元住民に事業内容を説明し、事業実施についての合意形成を図っていきます。



野生動物共生林整備現地説明会（豊岡市）

5 関係機関との協力体制の構築

森林林業技術センターの協力のもと、高強度梁仕口「但馬テイポス」等、新たに開発された技術・知識の普及・定着を図っていきます。

さらに、林業経営体に対する森林経営計画の作成・実行支援、市町に対する森林計画制度の運用及び森林環境譲与税の活用に向けた助言・指導等を行っていきます。

以上、皆様とともに「多様で健全な森林を次代につなぐ」取組を進めてまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。

令和5年度 林業普及指導職員名簿

	職名	氏名	普及指導区
革新支援その他	林務課 (1名)		
	林政調整班主幹	岡田 英樹	全県
	森林林業技術センター (3名)		
	林業専門技術員	小長井 信宏	全県
	林業専門技術員	志水 徳人	全県
	主査	山下 毅	全県
	県立森林大学校 (1名)		
	主査	大黒 明子	全県
	森林動物研究センター (1名)		
	森林動物専門員	尾畑 俊彦	全県
計	6名		
神戸阪神東播淡路普及指導区	神戸農林振興事務所 (4名)		
	森林課長	上川 総司	神戸市
	農政専門員	土井 幸亮	神戸市
	課長補佐	南都 義道	神戸市
	課長補佐	下田 惣一	神戸市
	阪神農林振興事務所 (2名)		
	里山・森林課長	上村 公浩	管内全域
	職員	森本 麻友美	管内全域
	加古川農林水産振興事務所 (3名)		
	森林課長	紙本 雅弘	加古川市・高砂市
主任	谷 俊徳	明石市・稲美町・播磨町	
洲本農林水産振興事務所 (2名)			
森林課長	梶並 紀雄	管内全域	
課長補佐	千坂 竜一	管内全域	
計	10名		
北播丹波普及指導区	加東農林振興事務所 (4名)		
	所長補佐兼森林課長	大津賀 秀樹	管内全域
	農政専門員	谷口 英樹	加西市・加東市
	主査	太田垣 亮	三木市・小野市
	主任	水野 彰	西脇市・多可町
	丹波農林振興事務所 (4名)		
	森林課長	上田 敦祐	丹波篠山市
	課長補佐	久保田 誠司	丹波市柏原町・山南町
	課長補佐	上坂 亮太	丹波市春日町・市島町
	主任	津瀬 信雄	丹波市氷上町・青垣町
計	8名		
中播西播普及指導区	姫路農林水産振興事務所 (6名)		
	森林専門員	新見 満	管内全域
	農政専門員	山口 和範	姫路市(旧姫路市・香寺町・家島町)
	課長補佐	浅田 知宏	神河町
	主査	石坂 知行	市川町
	主任	鈴木 大智	姫路市(安富町・夢前町)
	主任	藤原 美雪	福崎町
	光都農林振興事務所 (7名)		
	所長補佐兼森林第1課長	上床 雄治	管内全域
	課長補佐	有元 正彦	宍粟市千種町
課長補佐	平野 修之	たつの市・太神・姪町・赤穂・上野	
課長補佐	高山 勉	宍粟市山崎町	
主査	大橋 正知	佐用町	
主査	宗接 聖史	宍粟市一宮町	
職員	堀川 慎一郎	宍粟市波賀町	
計	13名		
但馬普及指導区	豊岡農林水産振興事務所 (3名)		
	森林課長	雑賀 謙彰	管内全域
	課長補佐	高寄 誠	豊岡市
	主任	永井 英司	美方郡
	朝来農林振興事務所 (4名)		
	森林第2課長	福島 智則	朝来市(旧和田山・山東)
	農政専門員	井上 靖	養父市(旧養父・八鹿)
課長補佐	濱田 祐介	養父市(旧大屋・関宮)	
主任	福田 祐介	朝来市(旧朝来・生野)	
計	7名		
合計	44名		

(林政調整班主幹(林業普及担当) 岡田英樹)

伐木災害防止 研修について

森林大学から受託し、実施している研修の中から今回は伐木災害防止研修をご紹介します。
講師は、愛林興業(株)の松田取締役にお越し、伐倒練習機を用いた伐倒技能を検証し、安全な作業方法を学びます。



講師による模範デモ

今後の開催は7月27日、8月29日、9月22日、10月26日、11月28日、12月26日、1月30日、2月29日の予定です。
後輩の指導に当たるベテランの方々も、基本に立ち返る良い機会ですので、ぜひご参加ください。
(兵庫県営林緑化労働基金 村上)

普及たより

集落ぐるみの鳥獣被害対策

神河町と姫路市での取り組み 中播磨県民センター 姫路農林水産振興事務所

1 はじめに

当事務所管内は、北は県中央部、神河町の森林・農山村地域から、南部には姫路市の都市部や家島諸島と地理に富む地域で、地域ごと鳥獣被害の態様が異なっています。

北部地域では、シカ、イノシシによる農林業被害が深刻で、集落・農地を取り囲むように侵入防止柵を張り巡らせ有害捕獲の強化を行っています。獣類の侵入を完全に防止できていません。

南部の平野部でもイノシシ・シカの生息域が拡大し、農業被害が多く発生しています。

家島諸島では、イノシシが島伝いに侵入・定着し、豊富なエサ環境や低い捕獲圧から急速に頭数を増やしてきたものと思われま

す。そこで、鳥獣被害集落自立サポート事業を活用して、森林動物研究センター森林動物専門員や林業普及指導員の指導のもと被害集落等が自ら被害対策に取り組んでいる事例の一部をご紹介します。

2 神河町中村地区

中村地区内の農地をほぼ網羅し、麦・水稻を主体とする営農組織「(株)中村営農」では、侵入防止柵の欠損部や河川からの野生動物の侵入が繰り返されることから、中村営農社員等による対策会議を開催し、猟友会神崎支部有害駆除班と協力のうえ、駆除班は箱わな増設を、わなの見回りや餌付け作業を中村営農社員が行い、将来的に社員が捕獲を担えるようベテラン猟師から捕獲技術を学んでいます。



【(株)中村営農での対策会議の様相】

「六甲山の災害展」の開催について

兵庫県神戸県民センター六甲治山事務所・農林水産部治山課

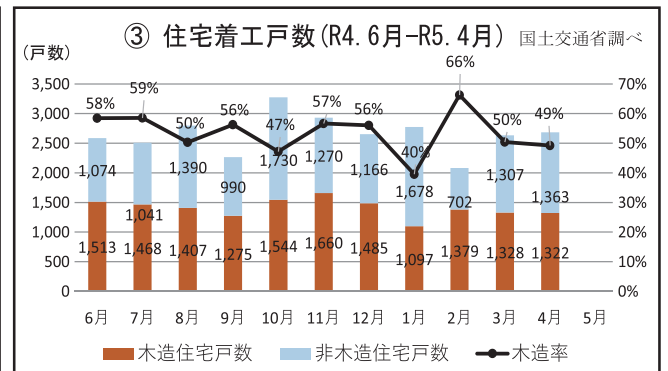
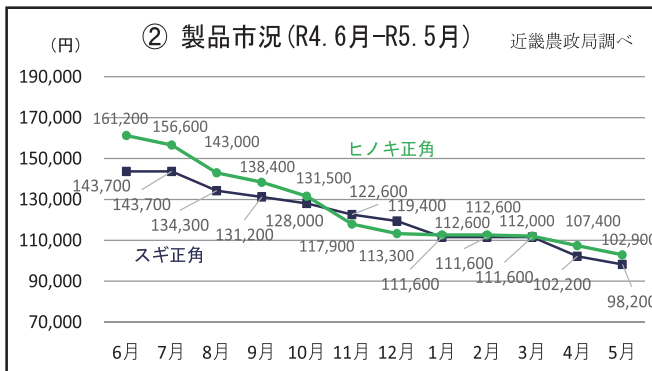
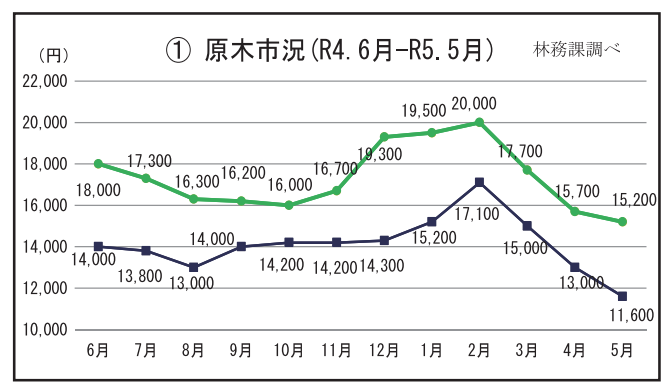
- 開催日時 令和5年8月15日(火)から27日(日) 9時30分～17時30分 (入館は16時30分まで・毎週月曜日は休館)
- 開催場所 阪神・淡路大震災記念「人と防災未来センター」西館1Fロビー (神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2)
- 問い合わせ先 農林水産部 治山課 計画班 TEL 078-362-3471
- 土石流実験装置の体験展示やパネル展示等を実施します。
- 「六甲山の災害展ポータルサイト」のお知らせ
ポータルサイトで六甲山で発生した災害の歴史や防災の取り組みなど、様々な情報を発信していますのでぜひご覧ください。<https://rokkosan-saigaiten.jp/>



土石流実験装置の実演
【R4年から装置をリニューアル!】

<兵庫県内の原木市況・製品市況・住宅着工戸数>

- ・原木は、2月にかけてスギ・ヒノキとも大きく値上がりしたが、梅雨期を控えて、出材量が増える等の理由で相場は大きく下がっている。
- ・製品は、荷動き鈍く値下がり傾向が続いている。
- ・住宅着工戸数は、月毎にばらつきはあるものの、年間を通じては概ね前年並で推移している。



3 姫路市的形地区

姫路市平野部の形的形第7地区もイノシシ生息域の南下に伴ってここ数年でイノシシ被害が急速に増大した地域です。
地区での被害対策研修会を通じて、住民の合意形成を図り、令和4年度から侵入防止柵の設置に着手、併せて猟友会飾磨支部の有害駆除班の捕獲活動を集落での餌付けや見回りで支援しています。



【形的第7地区での研修会の様相】

4 姫路市家島町

家島町は、瀬戸内海に浮かぶ島しょ部で、近年、海を渡ったと思われるイノシシが生息頭数を増加させ、人家付近での徘徊、家庭菜園の食害、ミニバイクとの接触など人との軋轢が多く発生しています。

5 おわりに

当所では、これらの集落への支援を引き続き行うこととしており、集落ぐるみでの捕獲強化や被害対策の定着・継続による農業被害減少に繋げていきたいと考えています。



【わな猟講習会でイノシシの解体実習】

そこで、県民センター事業を活用し、猟友会飾磨支部員へのわな猟・銃猟講習会の開催や島内で活躍する駆除班の有害捕獲活動支援を行うとともに、森林動物研究センターの協力を得て地元住民に対するイノシシの生態等を学ぶ研修会を行いました。

(森林課 新見 満)

兵庫県立森林大学校 オープンキャンパス・学校説明会・入学試験

専修学校 兵庫県立森林大学校では、令和6年4月入学（8期生）を目指す方などを対象に、オープンキャンパス・学校説明会を開催します。

森林を守り育てる知識や技術に興味のある方、「森林大学校ってどんな学校？」と関心をお持ちの方、1度実際にご自身の目で確認に来てください。

また、森林大学校へ入学希望者に向け、11月から順次、学校推薦、自己推薦、事業者推薦入試のほか、一般入試を実施します。

詳しくは、県ホームページをご覧ください。多くの方の参加をお待ちしております。

入試情報
含め
詳しくは
こちら！



Facebook



ホームページ



YouTube

	オープンキャンパス		学校説明会
開催日時	7月22日(土) 10時～15時30分	8月26日(土) 10時～15時30分	11月4日(土) 13時～15時30分
開催場所	兵庫県立森林大学校(兵庫県宍粟市一宮町能倉772-1)		
林業体験会	・チェーンソー伐倒実演 ・ドローン操作体験 ・実習機器展示説明など	・高性能林業機械実演 ・高性能林業機械の試乗体験 ・鹿肉バーガーの試食体験など	
学校説明会	あり(学校の特色、就学支援、住宅支援、入学試験)		
個別相談	学校生活、給付金・奨学金、シェアハウス・家賃補助		
校舎見学	あり		
送迎バス	あり(JR姫路駅発着、無料)		—
募集締切	林業体験会：7月12日(水) 学校説明会：締切りなし	林業体験会：8月16日(水) 学校説明会：締切りなし	締切りなし

入学試験			
入試区分	学校推薦	自己推薦(第1回) 事業者推薦(第1回) 一般(第1回)	自己推薦(第2回) 事業者推薦(第2回) 一般(第2回)
試験日	令和5年11月2日(木)	令和5年12月8日(金)	令和6年3月12日(火)
受付時間	9:50～10:15		
試験時間	10:30～12:45、13:30～17:00(面接順により早く終了する場合あり)		
募集人数	半数程度	半数程度	若干名
試験会場	兵庫県立森林大学校(兵庫県宍粟市一宮町能倉772-1)		
試験内容	(推薦入試)小論文2題、面接 (一般入試)小論文1題、数学、面接		
出願期間	令和5年10月2日(月) ～23日(月)	令和5年11月6日(月) ～27日(月)	令和6年2月14日(水) ～3月6日(水)
合格発表	令和5年11月11日(金)	令和5年12月15日(金)	令和6年3月12日(火)

問合先：兵庫県立森林大学校
TEL 0790-72-2700



森林大学校主催の研修のご案内

- ①研修名 ②日時 ③開催場所
- ①路網作設スキルアップ研修 ②8月3・4日 ③宍粟市内
 - ①森林施業プラン向上研修 ②9月11・12日 ③多可町内
 - ①樹上作業基礎研修 ②10月5・6日 ③県立三木山森林公園
 - ①QGIS実務研修 ②11月29・30日 ③森林大学校
 - ①伐木災害防止研修 ②8月～12月 ③川戸演習場

森林大学校では、上記林業従事者向け研修「事業者高度化コース」のほか、県民向け研修「地域リーダー養成コース」、市町職員向け研修「市町職員等高度化コース」を実施しています。
詳しくはホームページ・facebookをご覧ください。

【森林大学校 研修課 TEL:0790-65-9916】

森林ボランティア活動

こうぎ 虹技 森林ボランティア 代表的場 勉 (姫路市)

当社(虹技株式会社)がCSR活動の一環として、森林ボランティア活動を始めたのは、今から8年前の平成27年、当時の環境管理グループリーダーが、兵庫県が推進する「企業の森づくり」に興味を持ったのがきっかけでした。

県から紹介してもらった活動場所は、姫路市夢前町にある里山を活用した公園、「兵庫県立ゆめさきの森公園」でした。最初のうちは公園職員の方に里山林整備のノウハウを教えてもらい、その後、登山を趣味としている社員らに協力を仰ぎ、里山林整備を実践に移していきました。

活動地として提供を受けたのは、公園内約1haの作業エリアで、「虹の森」と名付けました。公園職員の方の指導を受けつつ、1年かけて雑木林の下草刈り、常緑照葉樹(ツバキ等)の伐木を行いました。その結果、光の届きにくかった活動場所にも、徐々に光が差し込むように



光が差し込む「虹の森」

なっていました。

その後、平成28年に県と「企業の森づくり」参画の協定を締結し、本格的な活動をスタートしました。同時に会社からの補助も得られるようになり、社内外で環境貢献活動としての認知をしていただけるようになりました。

現在、登録しているボランティアメンバーはOBも含めると40名ほど。毎月第2土曜日に活動しています。今は整備エリアを拡大しつつ、間伐材でツリーデッキの作製や、遊歩道の開設、小鳥の巣箱の設置やシイタケ栽培、他ボランティアとの合同作業などを行っています。さらに、森林の役割と重要性を感じてもらうために、現地で新入社員研修や、ちびっ子対象のアユのつかみ取り体験なども実施しています。

私たちは、この活動を継続させることが最も重要であると思っています。これからもマンネリ化しないように、様々なイベントを企画しながら里山林整備を続けていきます。



アユのつかみ取り体験の開催



巣箱の設置

県立三木山森林公園は、本年度、開園30周年を迎えました

1 県立三木山森林公園について

県立三木山森林公園は、三木市の中心部に位置し、多様な森林を育成するとともに、豊かな緑の中で、多くの県民の方々が、文化活動及びレクリエーション活動を行うことにより、「森林(もり)とのふれあい」を深めるため設置された森林公園です。

広さは約80万平方メートル(甲子園球場のおよそ20倍)で、森の文化館をはじめ、森のクラフト館、茶室・休憩所等、多様な施設を有しています。

四季折々の豊かな自然の中で、森の大切さを体感していただける場所として、また、人と森とのふれあいの場として、年間約60万人の方にお越しいただいています。

2 公園の管理運営について

平成5年5月の開園以来、「三木山森林公園基本計画」の「基本理念」に基づき、「人と森林(もり)との共生」をテーマとして、長期的視点に立った多様な里山林の整備、生物多様性の保全・再生活動等に取り組んできました。

その結果、生物多様性に富んだ環境が復元され、多種の動植物が生息・生育し、『兵庫県版レッドリスト』において貴重性が評価された種類も確認されています。

本年4月には、公園内のコバノミツバツツジ群落が、植物群落としては三木市初となる、市指定文化財(指定文化財の種別：天然記念物)の指定を受けました。

【コバノミツバツツジについて】

本州西部、四国及び九州北部に広く分布し、4月の初め頃に、多数の桃色の花を一斉に付ける、ツツジ科・ツツジ属の夏緑低木です。

近年、アカマツ林の衰退、植生遷移等により、かつてコバノミツバツツジが群生していた地域においても急激に減少しており、『兵庫県版レッドデータブック2020(植物・植物群落)』においても、その貴重性が評価されています。



三木山森林公園の
コバノミツバツツジ群落

3 開園30周年について

県立三木山森林公園は、本年5月に開園30周年を迎えました。

今後とも、より良い森林公園づくりに引き続き取り組んでいきます。

なお、開園30周年を記念し、本年10月29日(日曜日)には、記念イベントの開催を予定しておりますので、是非お越しください。

【記念イベントについて】(7月時点の予定)

- 記念講演
里山保全の第一人者である服部 保先生(兵庫県立大学名誉教授)よりご講演いただきます。
演題：『天然記念物指定された三木山森林公園の
コバノミツバツツジの重要性(仮題)』
- 出展ブース
一般の方もご参加いただける、里山整備体験等を実施します。

研究報告

心去り平角材における適正な歩増し量の検討

兵庫県立農林水産技術総合センター 森林林業技術センター 藤本 千恵

1 はじめに

人工林の高齢化に伴って大径材の流通が増加しています。大径材の利用先の一つとして、1本の丸太から2丁の平角材を製材する心去り平角材(図1)がありますが、その生産手法は開発途上です。

木材は含水率が減少するに応じて寸法が収縮し変形しますが、心去り平角材は一般に流通する心持ち平角材と木取りが異なるため、その収縮や変形の仕方も異なり、必要になる歩増し量も異なります。歩増し量とは製材寸法と製品寸法の差分のことを指し、乾燥による収縮、変形、仕上げ加工の削りしろの分が必要な歩増し量となります。この試験では、スギ心去り平角材を含水率15%以下に仕上げたときの収縮と変形を計測し、必要となる歩増し量と適切な製材寸法を検討しました。

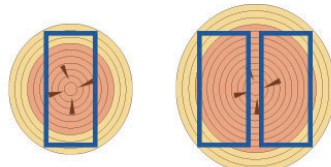


図1 心持ち平角材と心去り平角材の模式図

2 試験方法

試験材は未乾燥の修正挽きされたスギ心去り平角材(製材寸法225×135×4000mm)20本を用いました。

目標含水率は15%とし、人工乾燥後に天然乾燥を施した後、再度人工乾燥を施しました。まず、乾球温度80~90℃、乾湿球温度差最大15℃で7日間人工乾燥しました。その後、見かけの密度に偏りがないように10本ずつグループ①とグループ②に分け、天然乾燥をグループ①は2ヶ月間、グループ②は4ヶ月間行いました。その後、乾球温度80~90℃、乾湿球温度差最大15℃で、グループ①は7日間、グループ②は5日間人工乾燥しました。

図2のとおり、乾燥前後の試験体の含水率、寸法、反り量・曲がり量・カップ量を計測しました。梁せい方向の変形量は、梁せいの収縮量と曲がり量の合計から求め(図3)、幅方向の変形量は幅の収縮量と反り量、カップ量の合計から求めました(図4)。

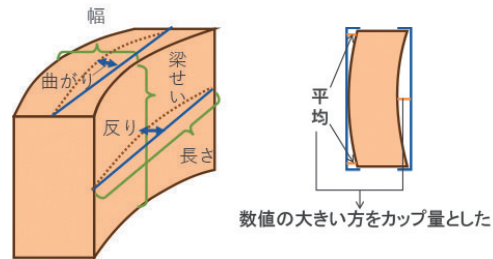


図2 測定箇所(左:反り・曲がり、右:カップ)

注:反りは広い材面で、曲がりは狭い材面で、長さ方向中央の矢高を計測した。両側の材面で計測し、数値の大きい方を分析に使用した。
注:カップ量は、長さ方向中央において右図のオレンジ線の箇所を計測した。凸面は、両端の2箇所を計測し、計測値を平均した。両面の計測値から数値の大きい方をカップ量とした。

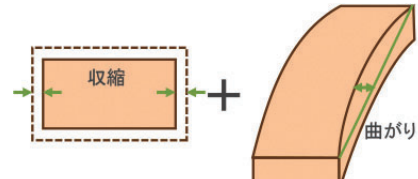


図3 梁せい方向の変形量

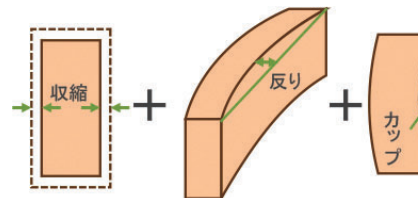


図4 幅方向の変形量

3 結果と考察

乾燥前の含水率は平均97.8%で、乾燥終了時にはグループ①が14.7%、グループ②が15.2%になりました。目標含水率である15%以下の材がグループ①は6本、グループ②は7本となり、おおむね目標含水率を達成できました。

含水率、寸法の変化量、反り量・曲がり量・カップ量について、グループ①とグループ②で大きな差が見られなかったことから、歩増し量は、グループ①とグループ②を区別せずに、20本全体で検討しました。

表1のとおり、梁せい方向の変形量は、梁せいの収縮量(平均5.58mm)と曲がり量(平均1.53mm)の合計から平均7.11mmでした。幅方向の変形量は、幅の収縮量(平均3.22mm)、反り量(平均2.19mm)、カップ量(平均3.64mm)の合計から平均9.04mmでした。

歩増し量を検討するにあたり、上記の変形量の平均値を使用すると、約半数は歩増し量が足りず製品寸法に仕上がりにません。そこで、変形量のデータが正規分布をしている場合、平均値にデータのばらつきを表す標準偏差を合計すると、84%のデータがその値以下になると試算できます。そこで歩増し量は、製品の84%の合格を目指す場合、平均変形量、標準偏差を合計して求めるのがよいと考えられます。さらに、表面を平滑にするために最低限必要な削りしろを5mm(片側2.5mm)と設定し、歩増し量に追加しました。

上記の方法で求められた歩増し量は、表2のとおり、梁せい13.56mm、幅17.07mmとなり、製材寸法は歩増し量に製品寸法を加えて、梁せい223.56mm、幅137.07mmとなりました。

表1 梁せい方向と幅方向の変形量

		梁せい方向		幅方向		合計
		収縮量	曲がり量	収縮量	反り量	
梁せい	平均	5.58	1.53	3.22	2.19	3.64
	標準偏差	1.25	0.70			
幅	平均	7.11		3.22	2.19	3.64
	標準偏差	1.45				

表2 歩増し量と製材寸法

	歩増し量			製品寸法	製材寸法
	平均変形量	変形量の標準偏差	仕上げ加工の削りしろ		
梁せい	7.11	1.45	5	210	223.56
幅	9.04	3.03	5	120	137.07

梅雨明け早々の沖縄に行く機会を得た。道中、北部国頭村の素晴らしい亜熱帯原生林の中にある環境省のヤンバルクイナの保護施設にも立ち寄り寄ってきた。なぜヤンバルクイナは飛ぶなくなったのかと問うと、鳥は飛ぶのが本当はしんどい、飛ばなくても敵もおらず餌が豊富で生きていけるからと聞く。そうか、鳥もしんどいんか、と窓外の鳥に妙な親近感を覚えた。以前は、夏の空港に降り立つとむせ返るような湿った熱気に沖繩を実感したものだ、最近では、あまり感じられない気がする。これも温暖化で列島全体が熱気に包まれたせいだろうか。各地では線状降水帯が頻繁に出現し、既に九州では洪水や土砂災害をもたらしている。これ以上の被害なく無事梅雨明けとなることを祈念する。

今月号の記事の中から、集落ぐみの鳥獣被害対策や非住宅木造建築研修会報告などに、少子高齢化の問題が垣間見られる。

鳥獣被害は農山村の過疎や高齢化に起因するものであろうし、非住宅木造建築研修会では、少子化の影響で新築住宅着工数に弱りが見えはじめ、住宅以外の建築物に資源活用を積極的に進めていく県施策の方向を示すものであろう。

このように、全国的、地球的な課題解決が求められる中で、「兵庫の林業」を皆様それぞれのお立場で、地道に、豊かな発想で、時には大胆に、一歩ずつ前進するようお願い。(編集事務局)

編集後記



“治山・林道測量”

は経験と実績のある

株式会社 石原測量コンサルタント

〒671-2542 兵庫県宍粟市山崎町船元250-1
Tel (0790) 63-1377
FAX (0790) 63-1398
E-Mail ishisoku-y@wine.ocn.ne.jp

国土交通省登録第24891号
県知事許可(般-2)第461481号

土と水と緑の技術で社会に貢献します。

コンサルティング事業 | インフラ整備・メンテナンス | 研究開発

斜面防災 | 治山・林道 | 地すべり防止工事 | InSAR | BIM/CIM
河川・砂防・海岸 | 斜面・のり面工事 | シミュレーション技術
地盤環境 | 環境・緑化 | インフラメンテナンス | 空間情報技術

国土防災技術株式会社

▼会社HP

神戸支店 神戸市中央区浜辺通2丁目1番30号(三宮国際ビル) TEL:078-221-2213
但馬事業所 養父市八鹿町高柳字岸の下137番地の4 TEL:079-662-7108

ひょうご木の匠の会 兵庫県産木材の家

私たちは、兵庫県産木材を使い、人と環境に優しい木造住宅を提案し建築します。

ひょうご木の匠の会 会長 日置尚文(日置建設株式会社)
(事務局) 神戸市中央区北長狭通5-5-18 兵庫県林業会議
<https://hyogo-kinotakumi.com> TEL:078-351-3341



緑の募金へのご協力をお願いいたします

いつも緑の募金にご協力いただき、ありがとうございます。
緑の募金は、森林ボランティア活動への支援や、子どもたちの環境学習などに活用しています。
ご協力いただける場合は、次の方法でお願いいたします。



ご寄附の方法

1 金融機関からのお振込み

- ①郵便局（手数料不要）
専用の払込取扱票をお送りしますので、当協会にご一報ください。
- ②銀行（手数料必要）
口座：三井住友銀行 兵庫県庁出張所
普通 3198438 公益社団法人兵庫県緑化推進協会



募金のページQRコード

2 キャッシュレス決済（手数料不要）

ソフトバンクの「つながる募金」からキャッシュレスでご協力いただけます。

公益社団法人 兵庫県緑化推進協会

〒650-0012 神戸市中央区北長狭通5丁目5番18号
TEL 078-341-4070 FAX 078-341-4071
HP <https://hyogo-green.net/>

兵庫県緑化推進協会

緑を育み水をつくる水源林造成事業

分収林方式により、水源林造成事業を進めています
対象地は無立木地など、公益的機能の低下した水源かん養保安林です

国立研究開発法人森林研究・整備機構
森林整備センター近畿北陸整備局

神戸水源林整備事務所 TEL(078)362-5800
FAX(078)362-5802

兵庫県水源林造林協議会 TEL(078)351-3341
〒650-0012 神戸市中央区北長狭通5丁目5番18号
(兵庫県林業会館内)

災害のない安全で安心な社会

- 治山、林道、造林事業の推進
- 山地防災・土砂災害対策計画



一般社団法人 兵庫県治山林道協会

〒650-0012 神戸市中央区北長狭通5丁目5-18
TEL:078-371-0210 FAX:078-371-6632

HP [兵庫県治山林道協会](http://www.greenkousan.co.jp)



あなたの町の森づくり
木材利用・木育をサポートします

ひょうご 森づくりサポートセンター

森林環境譲与税や森林経営管理法に関すること、
県産材や地域産材の活用に関することなど
何でもお気軽にご相談ください。

■神戸市兵庫区浜崎通5-6 ひょうご森づくりサポートセンター URL:www.hyogoforest.or.jp
森林整備:☎:078-599-7461(ひょうご森林林業協同組合連合会内)
木材利用:☎:078-381-0607(兵庫木材業協同組合連合会内)

Husqvarna

■550XP/XPG-MarkII



■排気量：50.1cm³ ■質量：5.3/5.5kg(XPG)
■出力：2.8KW

AutoTune

本当の価値が分かる方へ!

安全と作業効率を追求し続けるハスクバーナは、
プロが認めるチェーンソーの最高峰です。
革新的な技術を融合し、これまで以上の加速と
トルクで他に類のない鋸断能力を発揮します。
新登場550XP-Mark II、ぜひお試しください。

愛林興業株式会社

本社	姫路市飾磨区恵美酒294-3	TEL (079) 234-8181 番代
神崎店	神崎郡神河町吉富1409-2	TEL (0790) 32-0570 番
但馬店	養父市上野1357	TEL (079) 664-2101 番

熱中症予防対策

職場における熱中症により、
亡くなる方、4日以上仕事を休
む方が増えています。
そこで、厚生労働省では、
STOP（熱中症クールワーク
キャンペーン）を実施しています。
各事業場でも、事業者、労働
者の皆様ご協力のもと、次の熱
中症予防に取り組みましょう！

- ① 休憩場所の整備
身体を適度に冷やすことので
きる物品等を設置する
水分・塩分の補給を行える飲
料水等を備え付ける
- ② 涼しい服装などを着用
透湿性及び通気性の良い服
装・ヘルメット等を着用する
作業時間の短縮
- ③ 暑さ指数(WBGT値)が高
いときは、単独作業を控え、
暑さ指数に応じて作業の中止、
こまめに休憩をとるなどの工
夫をする
- ④ 暑への順化
暑さに慣れるまでの間は十分
に休憩を取り、1週間程度か
けて徐々に身体を慣らす
- ⑤ 水分・塩分の摂取
のどが渇いていなくても定期
的に水分・塩分を取る
- ⑥ プレワークにも体温を下げる工
夫をする
- ⑦ 健康診断結果に基づく措置、
糖尿病、高血圧症、心疾患、
腎不全、精神・神経関係の疾
患、広範囲の皮膚疾患、感冒
下痢などがあるため、医師にか
かりやすくするため、医師の
意見をきいて人員配置を行う
- ⑧ 日常の健康管理など
前日のお酒の飲み過ぎはない
か、朝食をきちんととったかな
ど、管理者が確認する
労働者に熱中症の具体的症状
について説明し、早く気づく
ことが出来るようにする
- ⑨ 労働者の健康状態の確認
作業中、管理者はもちろんだ
作業員同士お互いの健康状態
をよく確認する

少しでも異常を感じたら
○少しでも本人や周囲が異常を
感じたら、すぐに病院に運ぶ
か救急車を呼んでください
○病院に運ぶまでは一人きりで
ず、必要に応じて水分・塩分の
摂取を行い、効率的な体温の
低減措置を講じてください

林業・木材製造業労働災害防止協会兵庫県支部
〒650-0012 神戸市中央区北長狭通5丁目5番18号 兵庫県林業会館3階
Tel : 078-371-0607 Fax : 078-371-7662 URL : <http://www1.odn.ne.jp/hyogomokuren/rinsaibou/>

土・木・緑・そして人
とりもどそう 人にやさしい環境

株式会社
グリーン興産

〒671-4141
兵庫県栗原市一宮町東河内1003
TEL 0790 (72) 1553 FAX 0790 (72) 2327

GREENKOUSAN

営業品目
森林部門……素材生産・森林整備・危険木伐採
土木部門……公共土木・一般土木工事
緑化部門……公共緑化工事・一般造園工事
建築部門……新築・リフォーム・エクステリア工事
E-mail: info@greenkousan.co.jp
URL <http://www.greenkousan.co.jp>

三井化学 グループ エムシー緑化の松枯れ防除剤

松枯れ防止樹幹注入剤
マツガード®
マツガードクイック®
ハダニの適用拡大

マツノマダラカミキリ後食防止殺虫剤
マツガードフラッシュ®

販売元 **正和商事株式会社** 〒541-0045 大阪市中央区道修町1丁目3番4号
TEL 06-6203-4541 FAX 06-6203-4347

ひょうごの木の物語

第5回

「3階建養蚕農家建築の使用木材等について」

1 はじめに

養父市には、明治から昭和初期に建てられた3階建の養蚕農家建築が今も多数分布しており、当地域の景観形成のポイントとなっています。これら養蚕農家の建築構造等については、「養父市3階建養蚕農家建築構造調査報告書」（平成23年3月養父市教育委員会）等に詳しく記載されています。

取材チームでは、住居と養蚕のために建てられた1軒の民家を訪ね、建築に使用された木材の樹種や大きさを拝見し、また当時の木材調達のことや山林の様子についてお話を伺いました。

2 建築物の概要

当民家は、明治20年ごろ養蚕業の拡大を目的に3階建て家屋として建築されたもので、使用木材は、江戸時代後期ごろに建てられた家屋の古材（ふるざい）を購入して、主要部材に使用したとのこと。

現在、主屋、はなれ、蔵、機屋、長屋、門、塀等からなり、修理や改修をされながらも、主屋等は、ほぼ建築当時の外観、部材を保っています。また当時の庭も残されています。



主屋等の全景

主屋は、田の字型の間取りで、間口6間（約12m）×奥行4間（約8m）で総3階建てです。1階の間取りは、表の間（8畳、床、書院、縁側）、みせの間（8畳、縁側）、中の間（8畳）、ちょうだい（6畳）、と玄関土間・上がりとからなります。おくどさん、庭座敷、風呂、井戸のあった母屋の付属屋は、現在は増改築されて、居室他となっています。

特長的なのは、1階中の間は、養蚕のため炉を焚いて家中を暖房する吹抜構造で、大屋根には通気と煙を抜くための抜気（ばっき）が上がっています。

2階は、天井の低い中二階構造、3階は与次郎組と呼ばれる小屋組で、仕切りのない48畳敷分の養蚕専用の屋根裏部屋となっています。

また、2階、3階の周囲の壁は、壁土が分厚く塗られた大壁構造となっています。



3階アカマツ梁の小屋組（与次郎組）

3 主屋の使用木材の樹種と大きさ

1階：大黒柱（ケヤキ7.5寸）、小黒柱（ケヤキ4.5寸）、庭大黒柱（クリ4.5寸）、隅柱等（クリ4.5寸）、梁（アカマツ梁背1尺2寸）、大引等（クリ）
上階：3階中柱（スギ5寸角）、梁丸太（アカマツ）、管柱（スギ4.5寸）、梁桁（アカマツ、一部にスギ）、もや・棟木（スギ5寸）、天井床板（アカマツ）
造作材等：框・敷台（ケヤキ、クリ）、敷居（サクラ）、縁板（ケヤキ）、書院（ケヤキ）、門（ケヤキ）。



ケヤキの大黒柱他（玄関土間周り） アカマツの梁と天井板（みせの間）

4 使用木材について

柱は1階クリ、ケヤキ、2・3階はスギ、梁桁はアカマツを主に一部スギとなっています。柱の寸法は大黒柱と3階の中柱以外は基本4.5寸柱となっています。当時、新しい木材で家を作る人はまれで、家を買って解体し、その古材で家を作るのが普通で、木材等の調達には時間を要したとのこと。

ケヤキ、クリ、アカマツ等の古材は、乾燥により形状寸法が安定し強度が増し、また燻され、耐久性や美しさを兼ね備えているため、良い物は好んで使用されたのではないかと思います。



クリ柱とマツ桁・隅木・垂木・野地板 表の間、縁から門を望む

5 当時の山の様子

使用木材にはアカマツの材が特に多く使われており、聞けば、その昔、尾根筋にはりっぱなアカマツ林があったとのこと。山には、採草地、桑畑などが中腹まで広がり、森林といえば尾根筋のアカマツ林が主で、当時、アカマツは建築用材、土木用材等として重要であったことが窺えます。

ケヤキは神社や比較的近い里山で大切にされ、クリはアカマツ等と混生していたとのことでした。

当時の里山は、スギやヒノキの人工林も限定的であり、現在のような一面森林で覆われた山の景観とは大きく違うもので、そのような中で、建築や日々の生活に必要な木材はとても貴重で大切なものでした。

6 おわりに

家の人は、「古い家を受け継ぐことは、とても大変です。」としみじみと言っておられました。現在、空き家となり取り壊される民家が各所で見られます。

貴重な民家建築を通じて、周辺の山や木の様々なお話を記録に残すことは大切であると考えています。

取材にご協力いただける民家等の情報提供をいただけたら幸いです。

（「ひょうごの木の物語」取材チーム）